

〔NGO三番瀬のラムサール条約登録を実現する会〕

記入日：平成29年6月5日

## 【団体の概要】

私たちはできるだけ多くの市民、企業、大学、行政などに参加を呼びかけ、東京湾に僅かに残された三番瀬の豊かな自然環境を保全するため、ラムサール条約に登録することを目的として活動しています。

具体的にはラムサール条約登録実現に向けて、年間行動計画をもとに勉強会、観察会（ふなばし三番瀬海浜公園）、シンポジウム、写真展、三番瀬食文化出前講座等を開催しています。また皆様の声を署名用紙に託して署名活動（千葉県に14万筆提出済）もしています。



【御菜浦・三番瀬ふなばし港まつりに参加】  
（三番瀬水族館事業）

## 事業報告

【支援金確定額：114,304円 支援率：50%】

## ■実施した事業の内容

船橋市主催のふなばし環境フェア、他団体のイベントでは海老川親水市民まつり、御菜浦・三番瀬ふなばし港まつり等で「東京湾に沢山の種類の魚、生き物がいるか？」を自分の目で確かめてもらいました（水槽の中にある生き物の観察、タッチプールではアカエイ、ドチザメ、コモンカスベ等の珍しい魚を触ってもらいました）。アサリや牡蠣の水質浄化作用の実験をして三番瀬、東京湾の干潟の特徴と役割を理解していただきました。そして「ミニミニ三番瀬」と題してイベントの開催日の前日にふなばし三番瀬海浜公園の前浜で採取してきたヤドカリ、マメコブシガニ、コメツキガニ等を展示しました（多くの子ども達が喜んでその場を離れたくないという姿が印象的でした）。

「江戸前の魚を知ろう！」では座学で現役の漁師さん（北里大学水産学部卒業）より東京湾で獲れる魚介類を解りやすく教えていただき、その後参加者全員で献立を考え調理実習を行いました。

漁港の朝市に参加し、漁師さんによるお魚のさばき方教室や生き物（船橋漁港で水揚げされた魚介類）の展示を行いました。

## ■支援金の支出内容

それぞれの出前授業で水槽、タッチプール展示に必要なビニールプール。水槽やインク、コピー用紙等の消耗品費や原材料費（魚介類）、講師等への謝礼金に支援金を支出しました。御菜浦・三番瀬ふなばし港まつりに出展し、会場の広さに負けず、東京湾で獲れる魚介類を水槽・タッチプール展示等を行い「三番瀬水族館」という名の大きな事業を行いました。



【ふなばし環境フェアに参加】  
（タッチプール展示）

## ■事業の成果と今後の展望

「江戸前の魚を知ろう！」の調理実習では座学で使用した魚介類を使って、それぞれの特徴を活かした調理の仕方を皆で考えて行いました。

市及び他団体主催のイベントで出前授業を行ったことにより多くの市民に五感で自然豊かな海・三番瀬の重要性と三番瀬は都市型漁業が今でも営まれている宝の海であることを実感していただきました。団体の目標の実現に向けてこれからも継続していける様に当会の基盤強化に努めたいと思いました。

■問い合わせ先：理事事務局次長兼会計 渡辺 優子（わたなべ ゆうこ）

TEL：047-422-0772

E-mail：yuko-lapislazuli25@nifty.com